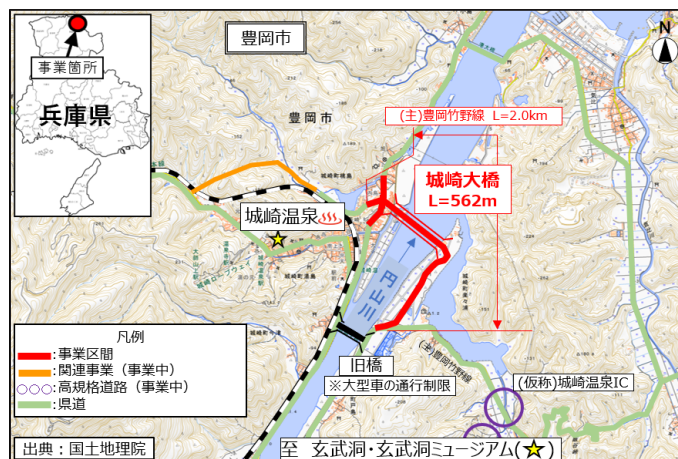


兵庫県土木部道路街路課

1. 概要

県道 豊岡竹野線は、兵庫県北部を東西に結ぶ幹線道路で、県内屈指の観光地である城崎温泉へのアクセス道路として利用される重要な路線です。このうち、兵庫県豊岡市北部にあり一級河川円山川を渡河する「城崎大橋」（以下「旧橋」とする。）は、架橋から70年近く経過しており、狭小幅員・大型車通行制限・多くの橋脚と橋桁が低いことによる洪水時の流下能力不足と課題を抱えていました。このことから約1 km 下流で架け替え事業を行うとともに、円山川兩岸の取付道路を整備し令和7年5月に完成しました。



【位置図】

2. 事業経過

平成 17 年から事業着手した、城崎大橋架け替え事業は詳細設計などを経て、平成 29 年に工事着手しました。着手後、当初の想定より支持層が深いことが判明し基礎及び躯体寸法を大きくする必要が生じたことや、支持層上部に硬質な風化岩が存在し補助工法を追加する必要が生じたこと、両岸の取付道路にて深い軟弱層が存在し軟弱地盤対策工法を追加する必要が生じたことなど多くの課題に直面しながら、8 年余りの工事期間を経て「新しい城崎大橋」(以下「城崎大橋」とする。)は、令和 7 年 5 月 31 日に開通しました。旧橋は、城崎大橋の開通と同時に通行止めを行い、令和 7 年秋から撤去工事に入る予定です。



【県道 豊岡竹野線 城崎大橋 全景】

3. 事業の目的と効果

① 安全・安心の向上

- ・ 橋脚が 22 基から 5 基へ減少することによる治水安全度の向上
- ・ 旧橋の重量制限による大型車通行不可を解消



【旧橋の重量制限（10t）】



【平成 21 年台風 9 号による状況】

旧橋は、昭和 31 年に架橋された橋長 238m の橋梁で、老朽化に加え、橋脚の間隔が 10m 程度と狭く橋桁も低いことから洪水の流下を阻害していたほか、狭小幅員（4.5m）、重量制限（10t）により大型車での通行が不可能と様々な課題を抱えていました。今回の架け替え事業により城崎大橋は大型車が通行可能となり、橋脚の本数も大幅に減少（6 径間）、旧橋を撤去することで、治水安全度が大幅に向上します。

② 観光周遊性の向上

- ・ 観光地「城崎温泉街」と「玄武洞」をつなぐ新たなルートを形成し、新たに路線バスの運行が開始
- ・ 整備中の「山陰近畿自動車道 城崎道路」の完成により、「（仮称）城崎温泉 IC」から「城崎温泉街」へのルートを形成



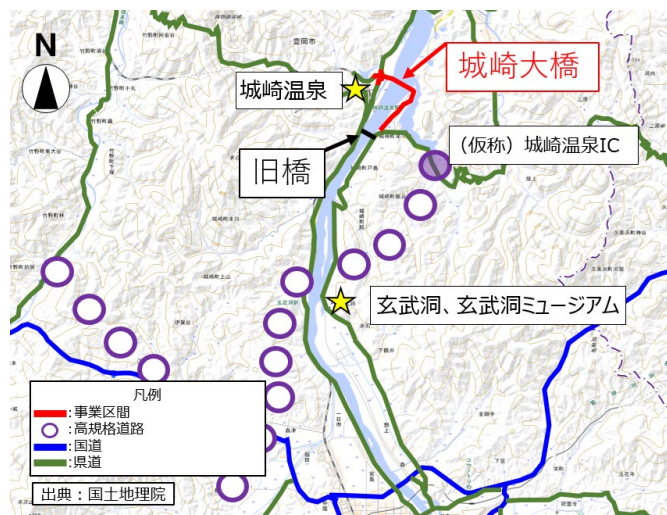
【城崎温泉】



【玄武洞】



【開通効果（大型車のルート短縮）】



【開通効果（城崎道路によるアクセス向上）】

「城崎温泉」と「玄武洞」間の観光バスの移動は、旧橋の重量制限もあり通行が不可能であったことから最短でも 15km の移動が必要でした。城崎大橋の開通により移動距離が 9 km 短縮し、6 km となり、観光周遊性の向上につながります。また、供用開始の翌日から城崎大橋を通る路線バスの運行が開始され、地元住民や観光客の新たな移動手段として利用されています。

現在整備中の「山陰近畿自動車道 城崎道路」にて「(仮称) 城崎温泉 IC」が城崎大橋近隣に整備される予定となっており、より一層神戸・阪神間や関西圏から城崎温泉までのアクセスが向上し、多くの誘客が期待されています。

③ スポーツ振興の促進

- ・旧橋を撤去することにより、直線 2,000m のローイング（ボート）競技会場が設定可能

円山川は、緩やかな河床勾配などの地形の特徴からローイング（ボート）競技の会場として利用されています。現在は直線 1,000m のコース設定が可能で、インターハイ予選などで利用されています。旧橋を撤去することにより現在の倍の直線 2,000m のコース設定が可能となり、国内最上位のコースとして幅広い利用が期待されています。



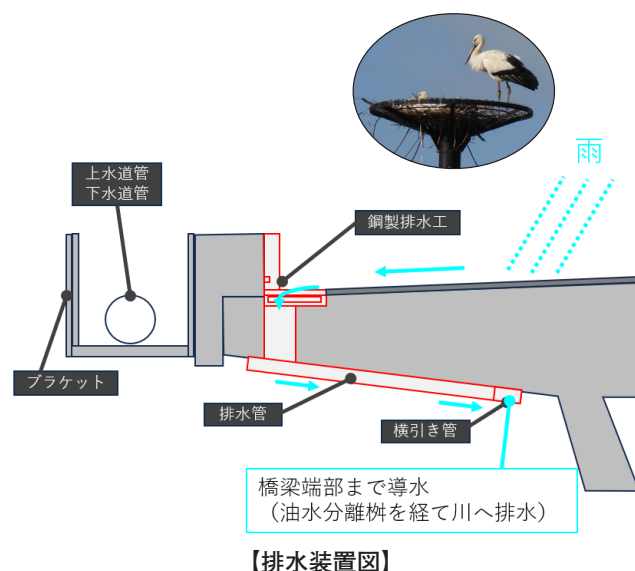
【ローイング（ボート）競技会場としての利用】



【ローイング（ボート）競技大会】

4. 環境配慮への取組

兵庫県豊岡市はコウノトリの町として、コウノトリの生息地となるような湿地の保全活動が盛んに取り組まれています。城崎大橋付近には、ハチゴロウの戸島湿地と呼ばれるラムサール条約湿地に登録されている湿地があり、架橋にあたって環境への影響を十分に調査する必要があります。環境調査を行ったうえで学識者などからなる環境調査小委員会を設置し、周辺の環境に配慮した施工内容となるように施工計画に反映しました。具体例としては、橋上の路面排水は、橋梁の端部まで導水し、油などの不純物を除去したうえで円山川へ排水することなどを行っています。



5. 終わりに

令和7年5月31日に城崎大橋は無事に開通し、開通を記念した式典には、地元住民を中心に約500名が集まりました。事業着手から、完成まで長い年月がかかりましたが、無事に開通できたことは用地を提供いただいた皆様や地元で応援をいただいた皆様、安全に工事を進めていただいた工事関係の皆様をはじめ、多くの皆様すべてのおかげと厚く感謝します。城崎大橋が城崎温泉への新たなゲートウェイに相応しいシンボリックな橋となり、兵庫県北部地域の安全・安心の確保や観光振興につながる道路になることを期待しています。



【開通式典の様子】